



Colum 令和8年熊本地震が発生しました

7月28日（火）16時27分頃 熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、宇城市や氷川町で最大震度7が観測されました。道路が崩落したり、建物倒壊、ガス爆発、火災が多数発生するなど甚大な被害が出ました。宇城市の病院では、倒壊の危険があるため病院避難の方針がとられ、入院患者127名を転院させる病院間搬送に追われていました。近隣の災害拠点病院では、多数傷病者受入れに切り替え、多くの傷病者の対応が行われています。（28日17時時点）

いま、激しい揺れを感じたら・・・？

その場の状況に応じて、**身の安全を確保**する。

揺れが収まったら、
周囲の状況・安全を確認。ANPICで安否報告する。

Shake Out

3つの安全確保行動



DROP：姿勢を低く
COVER：体・頭を守る
HOLD ON：揺れが収まるまでじっとする

勤務中 → 勤務継続（所属部署の指示に従う）

勤務時間外 休暇中 → 津市内で震度5強以上の地震が発生した場合※
出勤できる状態となったら安全な方法で自主登院

自主登院基準：津市で震度5強以上

※震度5弱以下の地震でも、緊急招集が行われた場合には、登院しましょう。
緊急招集：各部門で応援体制が必要となった場合、部門責任者の判断により招集を行うもの

当院では、災害時に地域医療を継続する重要な役割を担うため、以下の基本方針のもと、自主登院基準を定めています。

（2026年度職員手帳P74、災害対策マニュアルP35記載）

自主登院の基本方針

- 1 職員自身および家族の安全確保を最優先とする。
- 2 登院した職員については、災害対策本部の管理下で把握する。
- 3 人員配置は各部門の要望に優先して、病院全体の事業継続の観点から実施する。
- 4 急性期においては、災害対応および生命維持に直結する部門を優先する。
- 5 長時間勤務を避け、持続可能な人員運用に努める。
- 6 状況の安定後は、通常の指揮命令系統へ段階的に移行する。

最優先



災害対策本部

管理下で把握



大規模災害が発生した際には、病院機能の維持のため、通常とは異なる勤務体制（長時間の勤務、予定外の出勤、休日の勤務）が必要となる場合があります。

安全に医療を提供し続けるためには、職員一人ひとりが安心して業務にあたれることが大切です。

平時から、災害発生時の勤務体制や各種マニュアルを確認しておきましょう。

自主登院したら自主登院受付で受付をお願いします。

身体的負担
精神的負担

院内にいる職員が疲労

自主登院受付
外来棟5階ホール前

管理時間	：	内線
診療科	：	内線
名前	：	内線
連絡先	：	内線
連絡先	：	内線
終了予定	：	内線
配置場所	：	内線
終了時刻	：	内線



Topics 風水害を想定としたBCPに基づく机上訓練を行いました

事業継続計画（BCP）策定後は、実効性の確保・維持・向上を図る目的として、継続的に改善を行う事業計画マネジメント（BCM）が重要となります。5月29日より防災気象情報の体系が大きく変更されたことを受け、7月21日（火）防災会議（防災WG、防火検討委員会）合同会議において、風水害を想定とした机上訓練を行いました。本部・診療・事務に班分けし、警戒レベルに対応した病院の方針・行動について意見交換を行いました。





知っていましたか？

システムダウン時の検体検査・一般細菌検査の運用について

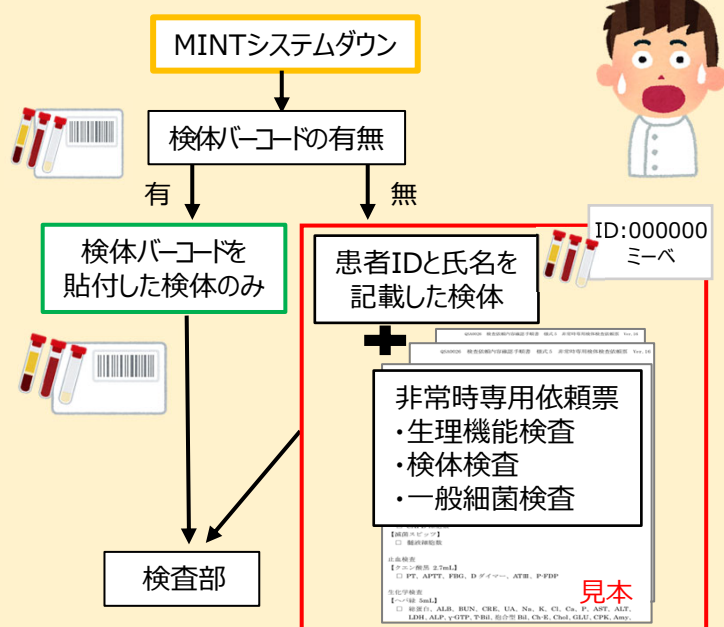
災害時やサーバー攻撃などでMINTが使用できなくなった場合、検体ラベルのオーダーや出力や検査結果を確認することができません。システムダウン時は、「システムダウン時の部門連携マニュアル【検体検査】」に基づき、検体検査・一般細菌検査を運用します。

もしもMINTが使えなくなったら…
検体検査の流れってどうなるの？

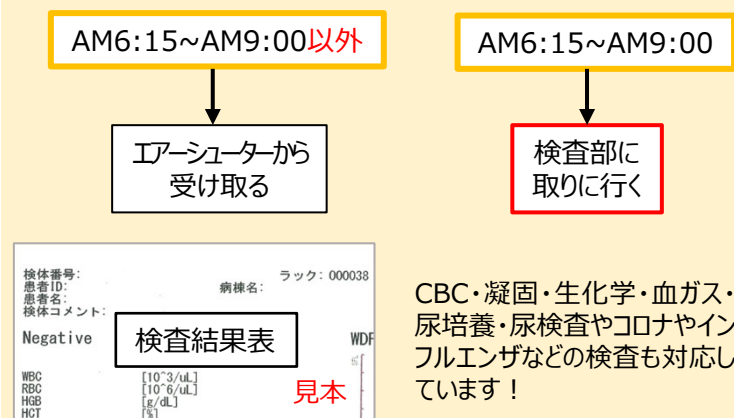


病棟の場合（平日・時間外対応同じ）

検査依頼方法



検査結果の受け取り方法



CBC・凝固・生化学・血ガス・尿培養・尿検査やコロナやインフルエンザなどの検査も対応しています！

システムダウン時、こんな時はどうする？

- ・**検体の準備は？**
各部署で必要な検体容器を準備します
- ・**検体のラベルシールはどうなるの？**
ラベルシールに患者IDと氏名を手書きで記載します
- ・**検体検査オーダーはどのように確認するの？**
採血対象者を医師に確認します
- ・**検体検査・細菌検査ワークシートは出力できるの？**
できません、採血対象者リストを作成します

通常時の運用は行われません！

システムダウン時のマニュアルと非常時専用依頼票はどこ？

三重大学附属病院
ポータルメニュー

詳細については、検査部のHPをチェックしてみてくださいね！

- ・放射線治療部
 - ・放射線部
 - ・**検査部**
 - ・材料部
- ◆ システムダウン時の部門間連携 マニュアル【検体検査】
- 非常時専用生理機能検査依頼票
 - 非常時専用検体検査依頼票
 - 非常時専用一般細菌検査等依頼票

検査部 副技師長
池尻 誠 です

Face 😊



システムが停止する有事の際も、検査の遅れや検体取り違え等の事故が起きない備えが必要です。紙カルテ運用時でも、安全で迅速な臨床検査を継続できる体制づくりを目指し、検査部として全力を尽くしてまいります。

Center Message

出勤中に緊急地震速報が鳴ったり、地震が発生した場合は、**まず自身の安全を確保することが最優先**です。
車を運転中の場合は、急ブレーキを避け、ハザードランプを点灯させながら徐々に減速し、道路の左側へ安全に停車してください。大規模地震では、建物の倒壊や道路損傷などにより交通規制や渋滞が発生します。一般車両の滞留は、救急車や消防車など緊急車両の通行を妨げる原因となります。やむを得ず車を離れる場合は、エンジンを停止し、鍵を車内に残したまま避難してください。

徒歩や自転車で移動中の場合は、建物からの落下物やブロック塀、自動販売機、ガラス張りの建物など危険な場所から離れ、カバンなどで頭部を保護しながら、公園などの広く安全な場所へ避難しましょう。

鉄道を利用中の場合は、強い地震を感知すると列車は安全確認のため一旦停止します。車内では手すりやつり革につかり、転倒を防ぎましょう。強い揺れを受けた場合、区間を全て点検するため、復旧には時間を要することがあります。係員の指示に従って落ち着いて行動してください。駅のホームでは、線路への転落を防ぐためホーム中央側へ移動し、落下物に注意しながら頭部を保護しましょう。

災害時は、職員一人ひとりの安全が、病院の医療継続を支えます。慌てて病院へ向かうのではなく、まずは身の安全を確保し、正確な情報を収集しましょう。安全が確認できたら、交通状況や周囲の状況を確認し、必要な準備を整えたうえで次の行動に移してください。自分自身が無事であることが、患者さんや病院を支える力につながります。（センター臨床工学技士 あ）



クイズにもチャレンジ

本アンケートは、当院職員を対象に実施しております。院外の方はご回答いただけませんので、ご了承ください。

かわら版アンケート